

【遠隔オンライン技術を駆使した麻酔科臨床診療教育アカデミー】研究実績

研究チーム名：遠隔オンライン技術を駆使した麻酔科臨床診療教育アカデミー

研究テーマ：オンラインでの超音波技術教育システムの確立

設置期間：令和2年11月～令和4年10月（2年間）

研究代表者：山本 俊介 大分大学医学部附属病院手術部（麻酔科）

キーワード：麻酔科、超音波診療、医学教育、遠隔医療、オンラインセミナー、動画配信、地域医療

SDGsアクション



【研究概要】

新型コロナウイルス感染禍により、オンライン技術を駆使した教育システムの研究開発が急務となった。

我々はこれまで、医学教育に関するセミナーを各種立ち上げ、習得困難かつ長期の学習期間を要する、

①超音波ガイド下中心静脈穿刺手技

②超音波ガイド下末梢神経ブロック手技

の各領域でシステム作りを進めていった。



写真①：中心静脈穿刺手技セミナー



写真②：末梢神経ブロック手技セミナー

【研究目標と研究計画】

●教育を前提としたリアルタイムでの超音波動画送受信技術の確立（1年目：終了、学会発表済み）

●超音波技術に関するリアルタイムオンラインセミナー開催（1年目：開催済み、継続）

●通信技術を駆使した超音波動画配信システム運営による産官学協力と外部資金の獲得（2年目）